

差出人： メールニュース／b-active 株式会社  
件名： 【セルフ・キャリアドック情報 –No.039–】

※本メールは、b-active にメールマガジン配信のご登録をいただいた方、講習会にご参加の方、および名刺交換をさせて頂いた人事の方や企業分野のキャリアコンサルタントの方にお送りしております。もしも、ご意向に沿わない場合など「配信停止」をご希望される方は、お手数ですが最下段の「★配信停止をご希望の方はこちら」からお願いいたします。

メールニュース会員 各位

みなさんこんにちは！キャリアコンサルタントの植村格明（うえむらまさあき）です。「企業分野」でキャリアコンサルティング活動をされる方々のサポート機能として、少しでもみなさまのお役に立てればと思います。

【セルフ・キャリアドック情報】

「第 11 次職業能力開発基本計画」が 3 月 29 日に厚労省より発表されました。すでにみなさまも内容をご覧になっているのではと思います。[第 11 次職業能力開発基本計画を策定しました \(mhlw.go.jp\)](https://www.mhlw.go.jp)

5 年ごとに策定発表される当該計画では、2001 年度に策定された第 7 次において初めてキャリアコンサルティングが登場して以来、社会や経済の環境、個人の働き方も大変大きく変化した 20 年という歲月だったのではと感じております。

今後 5 年間の職業能力開発施策の基本方針の背景に関しても、「労働者を取り巻く環境変化」として、新型コロナウイルス感染症、デジタル技術（DX）、労働市場の不確実性、人生 100 年時代、職業人生の長期化を挙げています。

よってその変化への対応として、①企業の人材育成を支援すること、②労働者の主体的キャリア形成を支援するための「人材育成戦略」として計画を位置づけ、職業能力開発施策の方向性を定めた上で展開を図るとしています。

この「人材育成戦略」としての職業能力開発施策の内容をもう少し詳しく見ていくと、「労働者の継続的な学びと自律的・主体的なキャリアの形成を支援する」としており、国の施策として「キャリア自律」を推し進めていくことを示しています。

その理由の一つとして、令和元年度能力開発基本調査より、自己啓発について労働者の 3 割弱が「どのようなコースが自分の目指すキャリアに適切なのかわからない」と回答していることを挙げ、キャリアコンサルティングの重要性に繋げています。

確かに OECD が発表している「教育・訓練への参加率」のランキングでも 33 か国中の最下位。僅か 2%

未滿つまり 100 人に 2 人しか参加していない状況で、因みにトップのデンマークが 15%近くで OECD 平均でも約 8%という状況です。

そこで、計画では「労働者が時代のニーズに即したスキルアップができるように、キャリアプランの明確化を支援する」という今後の方向性を示しており、その基本的施策の 1 番目に「企業へのセルフ・キャリアドックの導入支援」が記載されています。

つまり、キャリアコンサルタントは「労働者が主体的に学ぶ」ために「キャリアプランの明確化」を支援し、そのために「企業のセルフ・キャリアドック導入」を支援することが求められている訳です。特に企業内のキャリアコンサルタントのみなさまがメインです。

ところが、わたくし自身は素朴な疑問を抱かざるを得ません。「どうやって？」キャリアプランの明確化って？ 明確化したら主体的に学ぶのか？ セルフ・キャリアドック導入って？ キャリア面談は？

いままで学んできた、クライアントの「働く悩みや不安への支援」だけでは無いことは明確です。しかしながら、学べる機会がほぼ無い状況ですので、その一助として以下 ACCN テーブル 19 を立ち上げました。ご興味がある方はぜひ覗いてみて下さい。

「ACCN テーブル No.19【セルフ・キャリアドック実践キャリアコンサルタントのネットワーク】メンバー募集中」  
(メルマガバックナンバ —No.037—) <https://www.b-active.co/ccmmbbacknumber>

次回も引き続き、第 11 次職業能力開発基本計画についてです。

——— キャリアコンサルタント国家資格【更新講習】受講をご検討のみなさまへ ———

【技能更新講習】セルフ・キャリアドック「面談実践」コース（6 時間）は 6 月 19 日（土）

【技能更新講習】セルフ・キャリアドック「ワークショップ実践」コース（6 時間）は 6 月 20 日（日）

【技能更新講習】セルフ・キャリアドック「全体報告実践」コース（6 時間）は 6 月 26 日（土）

を開催します。お申込みは b-active ホームページ <https://www.b-active.co/lecture> 「オンライン講習」

☆最後まで読んでいただき、本当にありがとうございます。

一人ひとりの「働きがい」「生きがい」と共に / すべては対話から

b-active 株式会社 [www.b-active.co](http://www.b-active.co)

Copyright© 2020 b-active Inc.